

VST-AU MKS-80™ 1.1.1 Manual

 Windows 98, ME, 2000, XP, Vista, Windows 7

 OSX

 Universal Binary

目次

| | |
|----------------------------|----|
| » はじめに | 1) |
| » インストール | 3) |
| » MIDI セットアップ | 3) |
| » グラフィカル・ユーザーインターフェース | 4) |
| » VST-AU MKS-80 Editor™の操作 | 5) |
| » プリセットの操作 | 6) |
| » MIDI インプリメンテーション | 7) |

はじめに

reKon audio™ VST-AU MKS-80 Editor™ をお買い上げいただきありがとうございます。
VST-AU MKS-80 Editor™ は Roland MKS-80™のサウンドの全てのパラメーターを完全にコントロールすることができるリアルタイム MIDI シンセ・エディターです。今、あなたは MKS-80 の全ての能力を生かすことができ、長く使えて有意義なパッチを組み立て、あなたの音楽に新しい息吹を吹き込むことでしょう。マニュアルのダンプ操作に精を出さなくても、コンピュータ上で全てのパッチを見て、エディットし、管理することができます。お使いの VST または AU ホスト上で、あるいはスタンドアロンで、全てのパラメーターは自動的にコントロールでき、ホストシーケンサーで MKS-80 をヴィジュアルにプログラムする能力を与えることができます。あなたのプロダクション環境で、リアルタイムにあなたのシンセのパッチを表現するこの能力は、他のハードウェアシンセエディターと比べると、VST-AU MKS-80 Editor™を特長づけるものです。また、VST-AU MKS-80 Editor™は、ホストでサポートしていない場合あるいはホストを使う必要がない場合でも、スタンドアロンで使用できます。

先進パッチ・マネージャー

VST-AU MKS-80 Editor™ には、パッチ名を変更し、ドラッグアンドドロップで1つのスロットから他へパッチを移すことができる先進のパッチマネージャーが用意されています。それによりパッチに意味のある名前を付け、効率よく管理し、.fxp/.fxb ファイルとして保存できます。

先進パッチ・ランダムマイザー

VST-AU MKS-80 Editor™ には、パッチをランダムに生成する先進のパッチランダムマイザーが用意されています。

MIDI IN と OUTのモニター

MIDIモニターは VST-AU MKS-80 Editor™に入力あるいは出力される全てのMIDIデータを見ることができます。入力と出力の表示は簡単に切り替えられます。表示されたデータはコピーして、標準のテキストエディターや他のアプリケーションにペーストすることができます。

MIDI セットアップ

VST-AU MKS-80 Editor™ は、エディター内でMIDI INとOUTのポートを直接選択できる新しい構成を採用しています。これは、ほとんどのVST-AUホストやこれまでに送り出した製品にはない機能で、MIDIシステムエクスクルーシブデータを送受信可能にします。これで、システムエクスクルーシブの互換性のないホストで制限されることがなくなります。

ホストで使用されているMIDIポートは'Not Available'(利用不可)と表示されるので、MIDIポートの選択ミスやそれによるクラッシュは防がれます。MIDIセットアップでは、特定のMIDIデータをフィルターしたり、MIDI IN/OUTの操作を切り替えることもできます。



Roland MKS-80™ シンセサイザー

Roland MKS-80 は、クラシック・アナログシンセです。生産からは長い年月が過ぎていますが、いまだに評価され多くのプロミュージシャンが探しているシンセです。その厚いサウンドと優れたモジュレーション能力、堅牢な構造によれば、それも不思議ではありません。MKS-80 は Jupiter 6 (Jupiter 8 後のモデル) に非常に近いサウンドですが、良く検討されたクラシックシンセであることは疑いないものです。reKon audio は最新のテクノロジーでこのクラシックシンセをサポートできることを誇りに思います。この製品で我々は新たな大きな一歩を進めました。それは MIDI システムエクスクルーシブをサポートするエディターを始め、パッチライブラリアン、先進のパッチランダムマイザー、MIDI モニター、フルオートメーション、オーディオユニットホストの対応、そしてスタンドアロンアプリケーションまでも可能とするものです。

インストール

この製品には、インストールをするためのインストーラーが用意されています。製品を使用する前に、インストールとライセンスの登録に関する以下の説明を読んで進めてください。

WINDOWS USERS

1. 製品を使用する前に、コンピュータとシンセの完全な接続をするために、このマニュアルの MIDI セットアップの説明を読んでください。
2. VST-AU_MKS-80_Editor.msi インストーラーファイルを起動します。これは VST とスタンドアロンのアプリケーションと関連のファイルをコンピュータの次のフォルダにインストールします。

32 ビットのシステム

VST: C:\Program Files\Common Files\reKon audio\VST-AU MKS-80 Editor\

スタンドアロン: C:\Program Files\reKon audio\VST-AU MKS-80 Editor\

64 ビットのシステム

VST: C:\Program Files (x86)\Common Files\reKon audio\VST-AU MKS-80 Editor\

スタンドアロン: C:\Program Files(x86)\reKon audio\VST-AU MKS-80 Editor\

*注: 本製品は 32 ビット製品です。32 ビット製品は 64 ビットの DAW ホスト上でネイティブには動作しません。

3. 製品を使用するためには、取得したライセンスキー (.rkl ファイル)をステップ 2 でフォルダに収めます。

Mac OSX ユーザー

1. 製品を使用する前に、コンピュータとシンセの完全な接続をするために、このマニュアルの MIDI セットアップの説明を読んでください。
2. VST-AU_MKS-80_Editor.pkg 内のインストーラーファイルを起動します。これは VST とスタンドアロンのアプリケーションと関連のファイルをコンピュータの次のフォルダにインストールします。

AU: [インストール場所の]/Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/Components/reKon audio/VST-AU MKS-80 Editor/

VST: [インストール場所の]/Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/VST/reKon audio/VST-AU MKS-80 Editor/

Standalone: [インストール場所の]/Applications (アプリケーション) /reKon audio/VST-AU MKS-80 Editor/

*注: 使用するホストが検出できるようにするためには、VST と Component フォルダのファイルを [User (ユーザー) /Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/ フォルダにコピーする必要があります。]

3. 製品を使用するためには、取得したライセンスキー (.rkl ファイル)をステップ 2 でフォルダに収めます。

MIDI セットアップ

使用するため前提

まず、対象のシンセサイザーの基本的な機能を理解してください。それはそのシンセのマニュアルおよび MIDI の基本を理解することです。この知識なしでは、本エディターの設定や使用方法を理解するのに時間が掛かるでしょう。

ステップ 1: MKS-80 の設定

MKS-80 とパソコンを MIDI ケーブルで接続し、割り当てる MIDI ポートと MIDI チャンネルを確認、設定してください。

ステップ 2: VST ホスト(DAW) のプラグインの設定

設定の方法はホスト(DAW)のソフトウェアによって異なります。各ホストのプラグインのサポートは異なるでしょう。また、VST Instruments からの MIDI データに対するサポートも異なるでしょう。使用できるホストについては、reKon audio のウェブサイト; www.rekonaudio.com で、Supported Hosts のリストを参照してください。そして、VST ホスト(DAW)のマニュアルのプラグイン(VST instrument (VSTi)または AU の設定方法を参照してください。

Cubase SX 2-3 での設定例

VST-AU MKS-80 Editor™ を Cubase SX 2-3 または Cubase 4-5 で設定するには:

1. VST Instrument Plug-ins のフォルダに VST-AU MKS-80 Editor がインストールされていることを確認してください。
2. Cubase を立ち上げてください。
3. New Project を作成してください。
4. VST Instruments パネルを開き、VST スロットで「VST-AU MKS-80 Editor」VST を選択してください。
5. MKS-80 Editor の MIDI Setup ボタンをクリックして、MKS-80 を接続してある MIDI IN と OUT のポートを選択してください。

注: 他の VST ホストの設定法も似かよったものです。reKon audio のウェブサイト; www.rekonaudio.com の Host Support ページも参照してください。

MKS-80 Editor に MKS-80 本体のパッチをロードするには

MIDI IN の設定が完了していれば、MKS-80 本体でパッチを選べば(選び直せば)、エディター上にパッチを受信して、エディターのパッチが生成され、自動的に保存されます。

グラフィカル・ユーザーインターフェース

グラフィカル・ユーザーインターフェースの使用

VST-AU MKS-80 Editor™ のグラフィカル・ユーザーインターフェースは、1スクリーン上で Roland MKS-80 の全てのコントロールに簡単にアクセスできるようにデザインされています。また、プリセット名をエディター上で表示、変更することができます。全てのコントロールは、スライダー、つまみ、ボタンタイプかコンボボックス、テキストエディットボックスで提供されています。

VST-AU MKS-80 Editor™ ユーザーインターフェース



パッチ・マネージャー

パッチマネージャーを表示するには、'Patch Manager' ボタンをクリックします。パッチマネージャーは 128 のパッチスロットがあり、名前を変更し、ドラッグアンドドロップで別のスロットへ移動し管理できます。移動には、パッチ番号のボックスをクリックし(赤い番号)、他のパッチ番号のボックス(白い字)へドラッグアンドドロップします。ドロップできる対象であれば赤いアウトラインで表示されます。パッチ番号をダブルクリックするとそのパッチのインターフェース画面に行けます。パッチマネージャーは 16 のバンクを切り替えることができます。各バンクには 128 のパッチを収められます。バンクはエディター上で選択できるだけです。選択したバンク番号にバンクファイルをロードまたは保存できます。初期設定では、バンク 1 ~ 8 には reKon audio で用意したパッチが収められています。9 ~ 16 のバンクは空のデータなので新たなバンク作成のために使用します。

パッチ・ランダマイザー

パッチランダマイザーを表示するには 'Rand Patch' ボタンをクリックします。パッチランダマイザーは、ランダムにパッチを生成(ランダマイズ)し、あるいは特定のパラメーターをランダマイズから除外することができます。また、各パラメーターを 'VAL' 列で数値として表示し調節できます。ランダマイズするパラメーターは最小値と最大値を選ぶかパーセンテージを選ぶことで、ランダマイズの範囲をコントロールできます。新たにランダムなパッチを生成するには 'Randomize' ボタンをクリックします。ランダマイズは現在選択しているパッチに対して行われ、そのパッチデータに上書きされます。

MIDI Setup ダイアログ

MIDI Setup ダイアログは MIDI の接続とエディターで入力あるいは出力する MIDI データをコントロールするのに使用します。エディターと MKS-80 本体がコミュニケーションを取るためには最初にこれを開く必要があります。MIDI IN と MIDI OUT のポートとチャンネルを MKS-80 本体に合わせてください。MIDI データの送受信は MIDI LED (IN/OUT) で表示され、その表示はオン/オフできます。MIDI Echo は MIDI IN のデータを MIDI OUT ポートへ返します。通常は、この機能は使いません。

MIDI Monitor (モニター)

MIDI モニターはエディターに入力される、あるいは出力される MIDI データを見るのに使用します。初期設定ではエディターからの MIDI OUT のデータを表示しています。MIDI IN と MIDI OPUT の表示を切り替えるには、'Show MIDI In' か 'Show MIDI Out' のボタンをクリックします。表示したログは 500 メッセージまで自動的にクリアされるまで保持されます。ログ上のデータは他のアプリケーションのためにコピーして利用できます。

VST-AU MKS-80 Editor™ の操作

サウンドについて

VST-AU MKS-80 Editor™ は MIDI データに関してのみ動作するプラグインです。したがって、それ自身でサウンドを出力することはありません。すなわちサウンドは MKS-80 本体が出力し、エディターでのコントロールが可能です。

コントロールの操作

VST-AU MKS-80 Editor™ のほとんどのコントロールは本体のつまみやボタンを模して、本体の操作と同じように操作できます。

マウスホイールのサポート

マウスホイールをスライダーの上下に使用できます。

MIDI データの受信

VST-AU MKS-80 Editor™ は MIDI ピッチホイール、モジュレーションと SysEx データを受信できます。すべてのコントロールはハードウェアが対応する MIDI コントローラーメッセージに反応します。

MIDI LED (IN/OUT)

VST-AU MKS-80 Editor™ が MIDI データを送信または受信するとき、MIDI IN または OUT の LED が点滅します。この表示は MIDI Setup ダイアログでオン/オフできます。

About Screen

VST-AU MKS-80 Editor™ ロゴをクリックすると About Screen が表示されます。About Screen ではあなたの登録名、シリアル番号、製品のバージョンを表示します。

プリセットの操作

パッチ・マネージャーの操作

パッチマネージャーはプリセットを操作するのに一番簡単な方法です。使用法はパッチ・マネージャーの項を参照してください。

現在のプリセットを変える

+ / - ボタンでプリセットを変えます。

プリセット名を変更する

プリセット名を変更するにはプリセット表示のディスプレイをクリックし、通常のテキスト入力と同様に名前を変更、入力し、Enter キーを押します。プリセット名は 20 文字まで使用できます。

COPY、PASTE ボタン

現在選択中のプリセットを他のプリセット位置にコピーするには次のようにします。プリセットセクションで、最初にコピー元のプリセットを選びます。まず右の COPY ボタンをクリックします。ボタンの色が変わることに注目してください。次に、ペースト先のプリセット番号を選びます。そこで、PASTE ボタンをクリックしてください(色は元に戻ります)。これでそのプリセットにペーストされました。他のプリセットにも続けてペーストできます。

MIDI インプリメンテーション・チャート

次の MIDI データはエディターから送信(Tx)、受信(Rx)されます。

| Message | Tx | Rx | Notes |
|-----------------------|----|----|--------------------|
| Channel | o | o | 1-16 |
| Mode | x | x | Omni mode |
| Note On/Off | o | o | note numbers 0-127 |
| Velocity | o | o | 0-127 |
| Aftertouch | o | o | 0-127 |
| Poly Pressure | o | o | 0-127 |
| Pitchbend | o | o | 0-127 |
| Modulation | o | o | 0-127 |
| Continuous Controller | o | o | 0-127 |
| Program Change | o | x | 0-127 |
| System Common | x | x | |
| System Realtime | x | x | |
| System Exclusive | o | o | |

x=no

o=yes

注:仕様は断りなく変更されることがあります。

©2010 reKon audio. www.rekonaudio.com